

<平成28年>

6 月 度 IC 交 流 会 の お 知 ら せ

皆様にはその後お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、平成28年6月度の交流会は下記の要領にて開催致します。このところ各スピーカーには、「IC (MRA) と私」のテーマで代わる代わる語っていただきました。今回は、本協会理事の兼松恵さんに「IC (MRA) と私 — かけがえのない賜物」のテーマで語っていただきます。お忙しいこととは存じますが、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

兼松 恵(かねまつ めぐみ) 氏のプロフィール

1952 東京生まれ。1974 年玉川大学文学部教育学科卒 教育哲学でラビンドラ ターゴールを学ぶ。1981 年 ハーバード大学大学院神学部 Harvard Divinity Graduate School にて聴講し、アジアにおける倫理・キリスト教比較教育を学ぶ。2008 年同志社大学大学院総合政策ヒューマンセキリュティー研究科修士課程修了、「倫理的にみた日本の支援の在り方-カンボジアの事例から」として学ぶ。

IC (MRA) との出会いは1974年。スイス、英国でIC (MRA) 研修を受ける。

1975年-1976年 欧州各国・北米にて、アジア・太平洋諸国の14カ国からなる60名の青年たちとMRAのメッセージを伝えるミュージカル「Song of Asia」に参加。

1976年-1982年 ブラジルを拠点とし、南米諸国にてMRA活動に従事(3年7ヶ月)。その後、スイス、英国(ロンドン)でのMRA活動に招聘される(1980)。次いで、米国ボストン(ケンブリッジ)でのMRA活動に従事(1981-82)。続いてインドのMRA活動に参画(4ヶ月)。

1983年～ 帰国。日本に拠点を移し、故相馬恵胤・雪香ご夫妻に師事しつつ、日本MRA社団法人立ち上げに携わる。その後、関西を拠点とし、故住友義輝会長夫妻とともに関西MRA活動に参画。この間、ブラジル、スイス国際会議に参画。その後、両親の介護に専念しつつ、カンボジアのMRAチームの支援活動も続ける(1988-99)。

2000年-2004年 カンボジアに拠点を移す。この間、国際会議 Farmers Dialogue を立ち上げに参画、カンボジア農民と政権との架け橋の機会を設ける。また、カンボジアでのAPYCの企画・運営に参画。さらにこの間、台湾にてFamily Workshopファシリテーターの研修を受け、以来、スイス、カナダ、カンボジア、中国、京都にて、ファミリーワークショップのファシリテーターを担当。

2013年 原 不二子代表、大隈尚子氏とともに、学堂会を立ち上げる。

記

日 時：平成28年6月19日(日) 14:00-16:00

場 所：IC オフィス (新宿区四谷4-28-20 パレ・エテルネル206号 電話 03-6273-1428)

会 費：一般：500円 学生：300円 留学生：無料 (お茶をご用意します)

*参加のお申し込みは返信用紙にご記入の上、Fax(03-6273-1429)でお送り頂くか、電話(03-6273-1428)、或いは、Eメール(k.nakayama.iofc@gmail.com)でお願いいたします。

公益社団法人国際IC日本協会

◇今後のご案内

7月17日(日) スピーカー 田口ヤス子氏(本協会理事、日本体育大学講師)

8月度 お休みです

以上